

東日本大震災関係



民間賃貸住宅情報 提供に関する説明会

平成23年3月30日(水) 徳島グランヴィリオホテル 出席者:120名

東日本大震災の被災者を受け入れる民間賃貸住宅の情報提供に関する説明会を開催しました。

地震発生直後より、会員の皆様には被災者の住宅支援のため物件情報提供をお願いしていましたが、被害の甚大さに鑑み、更なる住宅の確保が急務である状況のもと、新聞広告や会員の皆様にご協力を願い、一般の家主様のご出席を呼び掛け開催されました。

被災者の経済的負担を軽減できるよう「敷金・礼金・仲介手数料をなし」とし、家賃を低額に抑えるなどの条件を示して協力を求めました。

説明会終了後、物件の受付を行ったところ81件の提供がありました。



「東日本大震災」に係る義捐金ご協力への御礼とご報告

さて、去る3月11日に発生しました「東日本大震災」におきましては、義捐金のご協力をお願いいたしましたところ、多数の会員の皆様及び支部から多大なご協力をいただき、

1,920,640 円が寄せられました。

皆様方の温かいご協力に心から感謝と御礼を申し上げます。

お寄せいただきました義捐金は、全額を全宅連に送金いたしました。

また、当会では、これとは別に協会から、**1,000,000 円**を義捐金として徳島県に拠出いたしました。

なお、都道府県協会、傘下会員等より全宅連に寄せられた義捐金は5月20日現在で

132,722,505 円

全宅連では、その中から被災県の協会である宮城県協会に **16,500,000 円**

岩手県協会、福島県協会にそれぞれ **15,000,000 円**
青森県協会、茨城県協会、千葉県協会、栃木県協会にそれぞれ **2,500,000 円**

日本政府に **50,000,000 円**を拠出したとの報告がありました。

ご協力いただきました皆様方、本当にありがとうございました。



義捐金を県へ寄付する出口会長

東日本大震災募金活動 IN 徳島駅前(青年部会)

平成23年5月19日(木) 青年部会長 清水 哲也

平成23年3月11日(金)に東日本を襲った大震災。テレビをみておりますと私の体が震え、子供のいる身の父親として何も出来ない自分にはがゆさを感じました。

でも、何かをしなければいけないと使命感にかりだされ、こういう時こそ宅建青年部会で何かできないものかと至急正副部会長を招集して協議。後日、青年部会役員会を開き、全員一致で募金活動を開始することに。運営委員の澤内氏の協力で、福島県いわき市出身のフォークデュオ「ヒルストーン」さんとのコラボで徳島駅前にてボランティア活動の実施を企画。

道路・徳島駅前の使用許可の申請を提出して許可をいただき、事務局の協力を得て全会員、青年部会員に通達。

多くの宅建青年部の会員の方々に参加していただくことができました。

みなさんの協力、温かい人たちの募金で、義捐金72,027円が集まりました。後日徳島新聞社を通して東日本のみなさんに寄付させていただきました。

私が徳島駅前に立ち感動したのは、大きなお札を入れていただける大人たちにも感謝ですが、小学生の子供達が財布の中から「小さくてもいいですか？」と100円玉を入れてくれたときには目頭が熱くなりました。やはりこの活動をしてよかったです。

思い立ったが吉日といいますが、間髪を入れず義捐金活動を宅建青年部のみなさんでできたこと、私の意見に賛同してくれた会員のみなさんには本当に感謝です。

初代青年部会長としての2年間、大きな功績を残すことはできておりませんが、宅建協会登録会員の若い世代のつながり、いわゆる「絆」という縁を作り出すことができたことで、私の部会長としての役目・使命を果たすことができました。

この国に生まれてよかったといえる日本の復興に少しでも協力できたこと、宅建協会青年部会会員で一致団結できたこと、私の部会長としての誉れです。

東日本大震災募金活動 IN 徳島駅前、ご協力本当にありがとうございました。



募金を呼び掛ける青年部



ヒルストーンの二人と澤内氏